

2K-86

特17
86



時事
劇評
横浜のめざまし

突飛楼主人著

024370-000-2

特17-86

横浜のめざまし

突飛楼主人/著

M27

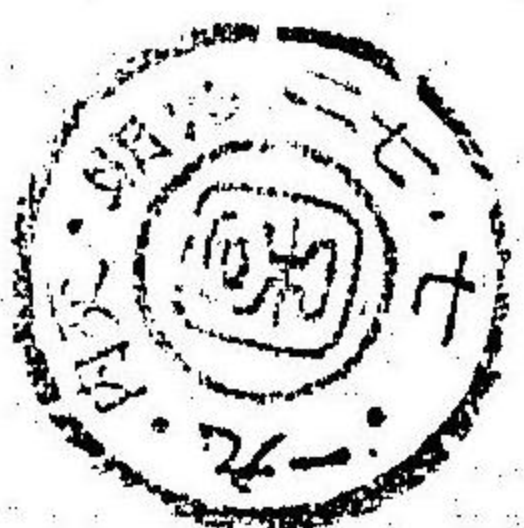
ADC-1549



時事評 横濱のめざまし

目次

○共有財産引渡よ就て洞慾黨よ教ゆ	一丁
○飯島勇造と片木八重吉の比較	四丁
○島田本村の腐敗如何	六丁
○米穀取引所の設立よ就て大谷川田代の徒を詰り	九丁
○十全醫院の性質變更ハ横濱市民の輿論なり	十二丁
○元町の大火よ就て近傍の家主連の頭上よ一針を加ふ	十六丁



○横濱よ於ける新聞と雑誌を評す……………十八丁

○朝鮮事件よ就き横濱市民の覺悟……………二十二丁

自序

横濱の地たる貿易の中心點政治の發動地たるは世人の普く知る所にして今更之を云ふ寧ろ陳腐に属するなり然れども貿易をして益々發達せしめ政治の發動をして健全ならしむるは横濱市民たる者の義務なり責任なり然るに此の大義務を忘れ大責任を盡さず反て紛擾葛藤を事とし日も猶を足らざるもの、如し觀よ共有物事件は一たび川田氏の好裁

斷を得しも洞慾黨奸商派の妨害する處となり紛議
更に其の度を高め葛藤愈よ根を深ふし殆んど其の
極點に達す其の他米穀取引所事件と云ひ木村島田
の總選舉に於ける競争と云ひ又た十全醫院の興廢
問題と云ひ彼此の問題頗る數多しと雖も一たびも
完全に平穩に終結を見ざるなり前途多事多忙の金
港安んぞ斯くの如にして可ならんや亦た市民たる
もの安んぞ晏然たるを得んや況んや東洋の局面漸

く波荒く日東帝國の國歩益々多端たらんとするに
於てきや此の時此の際目前の騷擾小利に汲々とし
て多端の帝國を思はざる如きは臣民の本志にあら
ざるなり於是乎吾人不肖なりと雖も横濱に於ける
紛擾葛藤を裁斷し彼等洞慾黨奸商派に向て一大發
砲し大に頑迷を攪し兼て横濱市民の輿論を喚起養
成せんとす讀む人希くは文の拙なるを笑ふなく宜
しく一讀の勞を吝む勿れ

明治二十七年七月酷暑の候

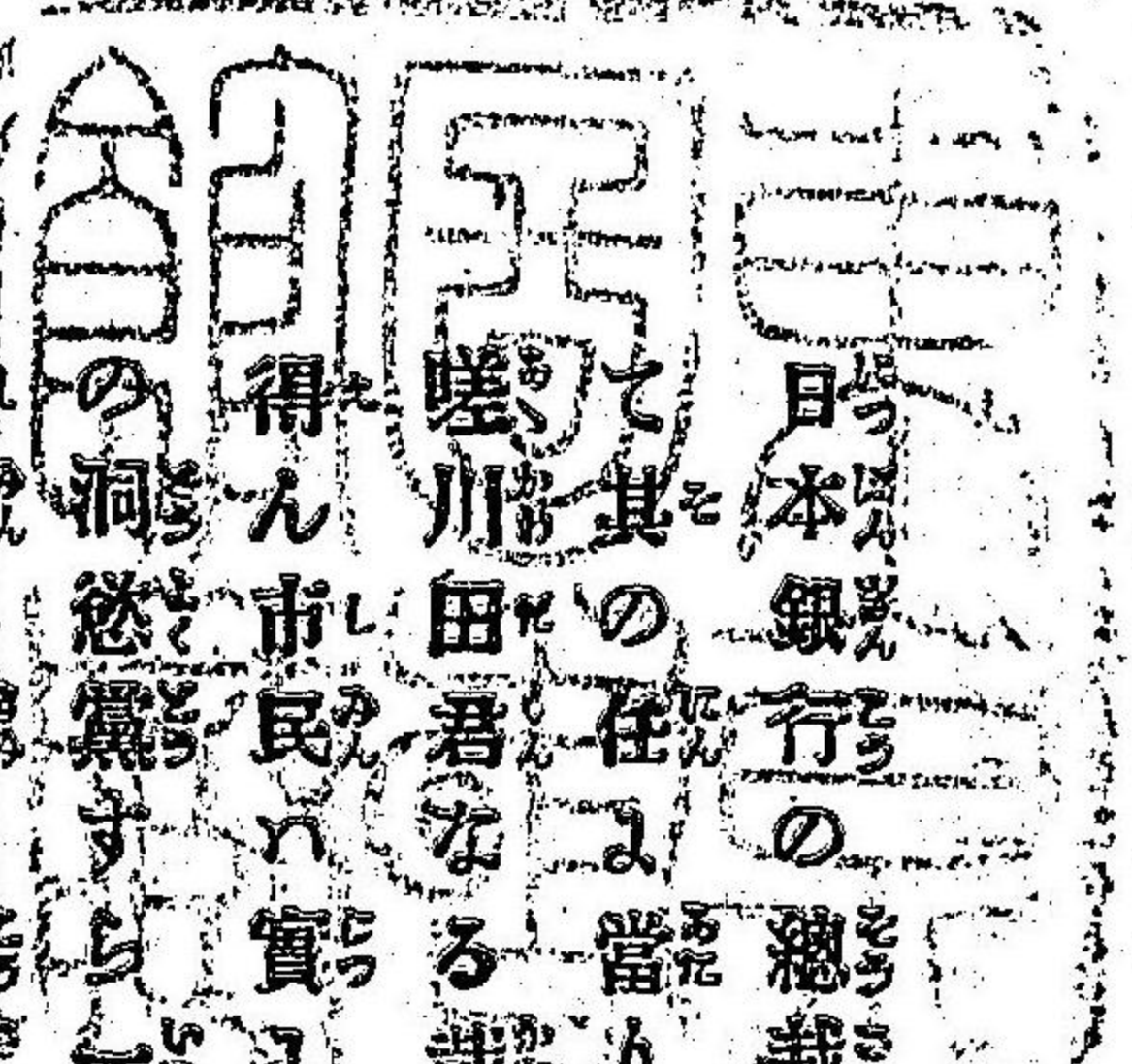
静窓の下に於て

突飛樓主人識

時事横濱のめざまし

共有財産の引渡に就て

洞慾黨に教ゆ



日本銀行の總裁川田小一郎君横濱に於ける多年の紛擾を仲裁せんと
其の在り當り忽ち好裁斷を下す曰く共有財産を市に贈與すべしと
嗟川田君なる哉小一郎君なる哉君よあらずんば安んず此の好裁斷を
得ん市民の實は君の好裁斷を歓迎したり貿易商も維持派と呼ばるゝ
の洞慾黨すら一時の何の異議なく君の好裁斷を伏したり以て如何
市民が君の好裁斷を歓迎したるかを知れ

十五万の横濱市民を歡ばしめたる川田君の好裁斷を破らんとし市民
の幸福を妨げんとし横濱の安寧を害せんとする洞慾傲慢ありて共有

横濱のめざまし

財産引渡を拒み容易し市は引渡すの摸様なし其の所謂維持派なる者何故引渡を拒むか廿六名の仲裁保証人の何故引渡を躊躇するか彼等洞慾傲慢なる維持派の連中の所謂共有財産を誤解して維持派の共有財産なりと思へるか如何支那の馬を鹿と欺きたる趙高的人物のみ多ければとてヨモヤ如斯き不了見のあるまじ否大に否世の澆季なり時の濁流なり己の懷中を暖むれば他を捨て顧みざるの今日の人情なり維持派なる者共有財産引渡を拒むに於て市民を思はざるなり組合を思はざるなり貿易の前途を思はざるなり朝夕心頭よ浮んで忘れざるもの共有財産横○の事と尻尾を振りて愛嬌を賣る奇猫の事のみ………呵々

茲に至りて市民の怒れり大に怒れり健全なる輿論の聲の万丈の山嶽將に抜けなんとす觀よ去る十六日港坐に於ける三千有餘名の市民か

集會何の爲す決議何の爲す酷暑炎天の候を省みず多忙の業務を思はず足を其の大會に運したる者之れ畢竟維持派なる洞慾黨の爲す事の茲に至らしめたる者にして乃ち市民か横濱市を憂ふるの一事あるのみ此の熱心なる集會の進んで三十五名の運動委員を選擧し着々其の歩を進めつゝあり三十五名の委員の實に其の責任を輕ぜざるなり其の義務を忘れざるなり一方は洞慾黨を論説し一方は市會に建議し以て其の初志を貫徹せんとす其の行ひや吾人決して賞讃の辭を惜まざるなり斯くの如く熱心な運動しつゝある十五万の横濱市民の劇聲の未だ以て洞慾黨の耳に觸れざるか抑も又た聞くも馬耳東風の如く聞き流しつゝあるか彼等洞慾黨飽迄市民の敵對手たらんとするか市民たる者鼓を鳴して責むるも躊躇する勿れ逡巡する勿れ

吾れ聞く洞慾黨の首領飯島勇造ある人よ語りて曰く共有物引渡の件

の第二の問題として先づ吾々の川田君の仲裁に服するの義務あるか否哉を研究せざるべからずと嗟何ぞ窮するの甚しき如何と洞慾鎮面皮か彼等の十八番なりとの云へ何ぞ其の云ふ事の白々しき飯島の勇造の何の面目ありて白晝猶ほ斯の如き言を爲す已に反對なる洞慾黨も一たび其の仲裁を川田君に一任したるよあらずや已に一任したりとせば其の裁断の如何と關らず從ふの義務ある隙々日を見るより明かなり今に至りて言を左右と托し引渡を拒むの洞慾黨の心底も量り知るとを得べし洞慾黨の一味徒黨連よ今も悔悟せずんば汝の頭上よ真理の日本刀躍らん吾人一片の親愛心汝等を警戒するのみ洞慾黨深く熟考せよ

飯島勇造と片木八重吉の比較

貿易商の總理飯島勇造の性質〇〇として洞慾頗る金錢を惜む厘毛の

差と雖も争ふ程の人物なり世上の所謂守銭奴なるもの飯島勇造の如き人物の代名詞なるか勇造何の幸の廻り來りしものか推されて貿易商總理の椅子に安坐し多少其の名を知られたり勇造其の名に似ず事と當りて怯弱として勇断も乏し某の日勇造偶々道に壯士と要せらるる喫驚一方ならず身を震ひして交番所へ飛び込み巡公の保護を受け漸く生地へ歸るの心地せりとか勇造か貿易商總理となりしに彼か好歴史の過半を埋めたる悪歴史の片影を作りしのみ吾人の彼か共有物事件に對する處置に彼自身の考よあらざるもの知ると雖も彼か市民有志大會に付き會館の借入の申込に對し之を断絶したるか如きの實は彼か生涯に於ける大憂断なり之を惡の側よ於てすれば依傍偏頗不正の所置と云ふも過言よあらざるなり要するは勇造の維持派中の〇才子たるよの相違なし片木八重吉の實は出來た人物なり吾人彼の

學識多きを知らず彼の財産餘りも多額なるを聞かずと雖も彼が正直
 一徹の志の事局又當りて熱心鋭意毫も蹉跌を聞かざるなり彼の實は
 貿易商革命軍の急先鋒たり其の共有財産一件の如きに至りての眼中
 市民あり横濱あり貿易商ありて自家を忘れたるもの、如くは狂奔す
 故は市民の望を屬する殊も甚しく片木ならずんば万事ならずと片木
 が市民の爲め貿易商の爲め身を挺して盡力せし横濱市の滅せざる
 限り其の名譽后世も垂るべし彼の港坐檀上は血涙數行慷慨悲憤の
 演説を爲せしプロモツシオンスの血涙演説の如し
 要するは飯島勇造片木八重吉の兩人を公平無私忌憚なく比較加評せ
 しめなば飯島の所謂明智光秀の野心あり片木の羽柴秀吉の勇氣あ
 りと云ふて可ならんか讀者之を判断せよ

島田木村の勝敗如何

總選舉々々八月初旬を以て行れんとすとの巷路の風評又侯例の野次
 馬騒ぎか壯士亂暴かど今から心配するの取りも直さず取越苦勞何の
 扱て置き今度の總選舉の横濱市の喧嘩仲々面白かるべし島田の連動
 者西村の喜公の勝利を伊勢山太神宮と祈念しつつありと風説するが
 先づ局外者の觀察でも到底島田の者よあらざるべし何故よかと問は
 れ觀よ先回の總選舉よ島田木村は勝つと僅かよ二票然も木村面し
 て島田を選舉したる卑劣漢破廉耻奴ありし爲のみ若し左も無くんば
 先回も島田の鹿にあらざりしなるべし成程三百屋的口調で政談演説
 の木村は勝ると幾十倍されど老實經驗の點に至りては島田遠く及ぶ
 所よあらざるべし殊も島田の隈伯黨の首領隈伯黨の横濱市の大嫌
 物なり爾來横濱市民の面目を重んじて島田を排斥せざるべからず木
 村の何れの黨派よも關係せず獨立獨歩の自由議員なれば横濱市民の

選舉して毫も耻ざる處なり而して亦た吾が濱港の實業港なり貿易地
なり宜しく之れは關係ある獨立議員を出して濱港の面目を全ふする
こそ本意なれ

己上の只だ木村島田の風評を風の儘よく耳よせしを記せしのみ其
勝敗如何の豫期する能はずと雖も定まれる被選人も定まれる選舉人
豫期するも大差のあるまじ

去らば其の豫選如何と人間は吾の答ん島田敗れて刃に伏し木村勝
て凱歌を唱へんと島田の敗刃するの其の利由ありてなり木村の勝利
之亦利由あればなり

吾人の親切も而も一片の慈愛を以て島田は勸告す古語云ふ君子の
危きは近よらずと今回の選舉の先づ危がるべし宜しく君子然として
近よるなかれ好んで近寄り亦た一本の腕を失ふ勿れ○序ながら島田

の妻君よ

一筆や上りて扱て御身の女子として生意氣も先回夫の競争も
大分御盡力の由なりしが今回の先づお廢の方御身の爲は幸ひと存
じよ、それよりも夫大事に闇の留守番可然と存じよ、先づ一
寸御注意迄あらしく候

米穀取引所の設立に就て大に谷川

田代の徒を詰り併せて大谷氏に望む

聞着々々大悶着未だ解けざるの横濱に於ける米穀取引所設立の一件
なり知事及び三市郡長の手を煩したるも其の甲斐なく熟議敗れて今
猶ほ米穀取引所の設立を見ず之れ畢竟何の爲乎吾人の大に谷川田代
の徒黨一味も其の責を歸せずんばあらず試み觀よ黒部岡崎の一派の
實に實業派として多數の同意者を得るの點に於て正當の出願者にし

て米穀取引所の發起人として亦た頗る適當なるを信するなり彼の反
對派なる田代谷川等の何者ぞ自己の他一個の商業を營みつゝある
よも關らず殊に米穀取引所の發起人たらしんとするの恐らく一種の警
推殊としりおしと云ふも出たるものなるべし横濱は信望を有せざる
もの乃ち彼等一味の徒黨連なり其不信望を回復せんが爲よ自ら發
起人たらしんとしたる所以よして他あるにあらず而して彼等の慾望の
寧ろ却て市民の惡感情を惹起せり然り大よ市の幸福を害したればな
り一方に正當なる適當なる黒部岡崎の一派が確なる保証金を積んで
其の認可を待つゝあるにあらずや小弱なる谷川田代の連中何ぞ横濱
市に適當なる米穀取引所を設置するの資格を有せんや彼等の頑固な
るの永く横濱市民の記憶に存するべし吾人の横濱市の爲め黒部岡崎
の諸氏益々進んで敏活なる運動せよ後れて横濱市の不利益を爲す勿

れ

近頃聞く當局者の紛紜の容易は解けざるを以て當港の名望家大谷嘉
兵衛氏も托し仲裁せしめんと同様に依頼せしに同氏之を引受け仲裁
の勞を採らんとすど吾人の大に之を賛成するものなり其所謂黨派的
觀念を以てせば大谷氏の幾部分か強く谷川田代も利なる仲裁説を爲
さんとすどの路傍の風評なれども吾人の大谷嘉兵衛氏も一邊の希望
なき能はず何ぞや君の横濱に於ける名望家なり去れば其の名望家た
る面目を重んじ市民の希望を満足せしめ以て公平なる無私なる仲裁
説を以て其の任を盡されん事を望むものなり氏も知る處なるべし黒
部岡崎一派の如何に適當なるか如何に正當なるか吾人の一例を以て
之を示さんよ呉服店が學校を設立し又た經驗ある教師が學校を設立
し雙方共に願書を差出したる事ありとせば輿論の吳服店の設立は係

る學校は賛成するか將た經驗ある教師等の設立する學校は賛成するか大谷氏たる者此の例を知るあらば希くは正當なる岡崎黒部の一派をして年來の熱心と目的を成就せしめよ之れ決して獨り岡崎黒部派の目的を成就するのみならず市民一般の幸福を増進せしめ併せて横濱の前途を幸ひするものなり大谷氏希くは之を諒せよ

十全醫院の性質變更は

横濱市民の輿論なり

十全醫院なる者豈に昔より不必要の者ならん哉素より必要ありて設立せしや論を俟たざるなり然れども當時設立せし趣意の如き必要の今日あらざるなり何故と然るか或人の云ふ十全醫院の設立せられし所以の者乃ち西洋醫術の擴張と西洋醫學の發達とありと而して其の二必要なるもの今に已に充分其の目的を達したるなり人の水薬を

持も草藥を持たざるなり人の西洋醫を治療を請ふを見るも漢的は行くを見ざるなり洋醫學校あるも漢法學會あるを聞かざるなり洋醫は北里柴三郎あるも漢法は良醫あるを聞かざるなり斯くの如く洋醫の明者多し斯の如くは洋醫術の人の尊ぶを見る然らば已に前の十全醫院設立の必要の已に早く滅したるものなり奇なる哉怪なる哉必要の滅したる十全醫院か今猶ほ市會の補助を受けつゝありと好し必要なき十全醫院のあるも又た市會か補助するも公共的の事を爲す何の不都合かある何の歸責する處かある然れども現制の十全醫院それなきを如何せん藥價現金よあらざれば一滴の水薬も與はず一邊の診察も御免蒙る况して糊口は困む貧民何んで施療し得べきとの公立病院なる市會の補助を受けつゝある十全醫院の現制なり嗚呼亦た何ぞ社會の風潮は逆風の甚しき市會か年々歳々補助する何の爲ぞ吾人殆ん

其の了解は苦む。頃者主人偶々某友を訪ふ談偶々十全醫院問題及び某友語りて云く過日の震災は負傷したる患者の如何は十全醫院は嫌ひれむかを知るか主人答ふるは知らざる旨を以てす某友云く負傷の患者は悉く根岸病院へ送る警察部の官吏同院の一時は入院者の雑多は出遇ひもを以て係りの薬局看護婦の不足ならんと想像し電話を以て一時手傳を根岸病院へ借すとを申し込みしは同院の斷乎として謝絶し且つ云く若し強て必要ならば東京の赤十字社若くは慈惠醫院に諮れど之がそも公立病院たる十全醫院の常局者は對する御返辭と云ふべきか鏡面皮の哉十全醫院の行ひよと主人聞て知らず。鎮拳茶腕を打ち茶腕怒りて三派は分離す某友苦笑一番分離する豈只だ茶腕のみならんやと

告ぐる人なく訴ふるは親戚なき貧民が死は瀕しつゝあるも十全醫院の平氣の平左なり平氣の平左なる病院は市民より取立たる税金を以て補助するの少しく極端は云ふが政は兵糧を與ふるも同じ宜なる哉長袖流のお醫者様も見兼ねて一片の建議書を市會へ呈出したる然れども終は容れられずして小使の聲拭紙と化す市會も扱てく廣瀬又ナメラシ居るなるべし何の兎もあれ現制の十全醫院を改革して施療院となす如きは道理の口は於て正當は市民の意を得たるものなり若し夫れ横濱港の形勢より云へば勿論一個の施療院を置く至當の話なり吾人の實は開業醫諸君の其の能く愛し注目したるを歡ぶものなり今日の時勢は不必要なる冗物に資金助金を支出するを許さざるなり宜なり横濱市民が劇聲を勵して同情同感を表したるを。吾人の殊更に市會議員諸君は物申す市民の代表者たる諸氏の能く其

の民情を察し三百圓的瀾策を出るなく斷々乎たる決心を以て横濱市民の希望を満足せしめんが爲は無用の冗物を廢して更に一個の貧民病院を設立して將來の横濱をして永く其憂を除かしめよ之れ吾人か筆先を捧にして市民の輿論を記せしのみ亦た何ぞ多言を要せん哉

元町の大火に就て近傍の家主連

の頭上に一針を加ふ

無慈悲なる哉慘酷なる哉不意の天災に遭遇して困苦しつゝある者に向て更は頓着せず高價なる屋賃を取立て自己の懐中を暖むるに汲々たるの何ぞそれ不人情の極なるや聞く元町の大火の千有餘の戸數を焼滅に歸したるなり爲は雨露を凌ぐに家なく口を糊するは米なく只だ涙を流して天を仰ぐのみ此の事上聞は達し畏くも吾が天皇陛下にの御手許金を御下賜せられたるは横濱の市民が感泣忘るゝ能はざ

るなり又た四方の慈善家が義捐せしは罹災者が配臆する處なり然るは近傍の家主連の奇利得べしとなし忽ち屋賃を引き上げ而も敷金を入れざれば貸家せずと嗚呼何ぞ輕薄なる浮薄なる人の困苦を見れば憐れんで之を救助するは人情の常なり然るは家主連の金錢さへ眼も映ずれば人の困苦を捨て顧みず否な顧みざるのみならず却て罹災者を困めんとするに至りては實は彼等の洞慾を驚かざるを得ず家主連の破廉耻なるは輿論の大は攻撃する處なり吾人の正義の滅せざる限りは彼等の攻撃の免るゝ能はざるなり

吾人の大は彼等を戒めざるべからず吾人が戒むる既往の事よわらざるなり將來の意向を確むるのみ吾人の彼等か將來よ於ける行爲よし

て今日の如くならんか吾人の勿論苟も天下正義の士の默然止まず起て必ず汝等を攻撃せん否寧ろ大々的筆舌を以て汝等の頭上は刀を加

へて地獄の裁判所へ送附せん汝等の大は覺悟して將來を戒むべき事
ならずや吾人之を云ふ畢竟汝等も同胞の一部たるを思へばなり汝等
夫れ吾人の言を首肯するや否や

横濱に於ける新聞と雑誌を評す

横濱に於て新聞雑誌の發兌する者漸く其數を加ふ之れ大は横濱市の
前途を幸ひする者なり然れども必ずしも新聞雑誌の發兌の市の爲に
費すべきの至りよあらざるなり煙癩なるもの風俗を害し偏頗なる
もの黨争を惹起す横濱市に發兌する新聞雑誌もて果して完全な
る者幾何かある吾人其の多きを知らざるなり今吾人の新聞雑誌に
盲目評を加へて善惡如何を市民の判断に任せんとす

横濱貿易新聞

文章の優美が否議論の斬新が否鼓導の迅速が否代價の安いが否單な
る句調を以て云へば手は採るの必要なしと貿易新聞の縣下唯だ一の
新聞なるも關らず維持派の提燈持を爲し正義の輿論に反對す貿易
新聞の毎日の發兌數僅か數千枚に超へざるも能く之を維持するの妙
なり疑ふ勿れ之を擁護するのあり其の〇〇なるもの則ち貿易新
聞の價値なき所以にして吾人が輿論に反對する者なりと云ふ所以
して横濱市民たる者の一日も坐邊に置くべからざるなり同新聞が維
持派の提燈を持ち〇〇引〇〇反對するの其餘汁を頂戴せんか爲か
吾人之を知らず一は讀者の考に任す

横濱輿論

生れ出て幼稚なれども成長速かよして又た頗る健康なり其の第一號
は於て萬丈の氣焔を吐き市民有志大會を賛成せし如きの吾人の大は
賞讃する所以よして又た其名實相反せざるを知るものなり議論斬新

よして文章麗明大い見るべきものあり輿論よして果して前途踉蹌する如きあざられバ横濱市に於ける第一流の雑誌よして市民の坐邊刻一刻も離る能はざるなり若し之を疑ふの輩の試み編き讀め其眞價の一見判然せん

千草園

滋強丸を以て其の名を博せしタイガー商會の別家千草園の吉永良延なる人よ依て發兌せらる吾人の同雑誌が議論と文章の如何の暫く措て云はず只だ吉永なる人の事業家として事よ當りて困苦を意とせず忍耐能く勉むるの一事の縣應の小役人か奮然起て雑誌を起し藥店を開業し今日の盛大を來したるの世人の賞讃する所なり吾人も千草園なる雑誌か七年の久き永續し猶今后永續せんとするの市の爲よ喜ぶ所なり千草園なるもの希くの自愛する所あれ

横濱の燈臺

燈臺燈臺の如く光り輝かず長者町の著述館なるもの常よ暗闇として光燈影闇し安んず能く横濱市の闇路を照すの力あらんや近頃燈油の騰貴せし故か月二回の大言の愚か一回も點したる事なきの何故か不審し不審しく

朝鮮事件に付き横濱市民の覺悟

ソラ始まつた朝鮮の喧嘩ソラ變た日清の争ひ危機一髪今も大騒動か起る毎日の號外に只だ危急々々と叫ぶのみ國民の政府が敏速よ出兵せしを大い喜ぶものなり某友云く何うじや朝鮮一件の大分妙ダナア一吾人慷慨悲憤空拳を振て某友よ語りて云く時來れり機至れり血性男子たる者豈よ安んず躊躇せん日本刀を振て〇〇奴と戦ふ快ならずや快ならずやと某友云く横濱市民の覺悟如何〇善い哉問や横濱の

東洋貿易の中心點なり今日の事直に大影響を及ぼすの乃ち横濱なり
其市民たる者又た安閑たる能はざるなり宜しく奮然起て敏活なる運
動を爲し横濱市民たるに耻ざるを要す若し夫れ自己一商業の爲め國
体を損傷する如きの終に横濱市の不面目となるのみならず日東帝國
の旗色を汚すものなり市民たる者大に覺悟する所あり

時事横濱のめざまし終

明治廿七年七月十二日印刷
明治廿七年七月十七日發行

(正價金四錢)

神奈川縣久良岐郡根岸村
三千八十四番地

著作兼發行人 秋本三次郎

神奈川縣横濱本町六丁目
八十二番地

印刷人 中根源造

市中各書肆及繪草屋ニテ賣捌致シ候

中華全國總工會

中華全國總工會

中華全國總工會

中華全國總工會

中華全國總工會

中華全國總工會